

建築工程に合わせ融資

エスクロー請負金額の6割上限で

戸建てビルダーに短期エスクロー資金貸付を行うエスクローファイナンス(東京都千代田区)は2日、住宅の建築工程に応じて建築資金を融資する「出来高融資サービス」をスタートした。工事請負金額の6割を上限に段階的に融資する。基礎背筋完了時に請負価格の1割、上棟時に2割、中間検査完了時に3割を融資する。ビルダーが住宅を引き渡し、施工主から代金を受け取った段階で一括返済を求める。金利は年6%。金利差額と融資手数料(融資総額の1~2%)が同社の収益となる。注文住宅は、着工の前段階で施工主がビルダーに一定の前払金を支払うの

が一般的。だが、ビルダーの倒産で工事が中断したまま前払金も返還されないといったトラブルが近年社会問題となっていた。このサービスを利用すれば施工主は前払金を支払う必要がなくなる。同社では、住宅FCやVCとの業務提携を推進し、年末までに融資件数200件を目指す。